

平成25年度消防防災科学技術研究推進制度採択課題の公表

消防技術政策室

平成25年度の公募状況及び採択結果について

「消防防災科学技術研究推進制度」は、公募の形式により消防機関が直面する課題の解決に向けて、高い意

義が認められる提案者に対して研究を委託し、国民が安心・安全に暮らせる社会を実現するものです。(平成15年度に創設)

平成25年度の新規研究課題については、28件の応募がありましたが、外部有識者による評価会の審議結果に基づき、「科学技術イノベーション総合戦略」(平成25年6月7日閣議決定)、「世界最先端IT国家創造宣言」(平成25年6月14日閣議決定)、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)等の政府方針を踏まえた消防庁が重要視する研究課題(エネルギー・産業基盤における災害対応力の強化等)や研究分野の偏りを考慮し、5件を採択しました。

また、平成23年度及び24年度からの継続課題については、13件の研究課題の継続を承認しました。

平成25年度の新規採択課題

研究課題名	代表者所属機関名 代表者名	連携 消防本部	研究内容
福島第一原発での教訓を踏まえた突入撤退判断システムの開発	杏林大学 山口 芳裕	・東京消防庁 ・東京消防庁 消防技術安全所	福島第一原発での教訓を踏まえ、NBC災害現場等における「突入判断システム」、「撤退判断システム」を開発するとともに、危険度判断基準のガイドラインの作成。
津波に対する危険物貯蔵施設の多段階防護システム	東京大学 田島 芳満	名古屋市消防局	事例調査、水槽実験、数値解析に基づき防護施設を含めた危険物貯蔵施設の効果的な防護システムを考案するとともに、周辺領域での被害予測とその軽減策の検討し、その効果を実証。
ゲル状消火剤の高精度投下による安全かつ効果的な航空消火システムの開発	鳥取大学 松原 雄平	鳥取県東部広域行政管理局 消防局	ゲル化した消火剤を高高度から投下することで安全かつ効果的な航空消火を実現することを考案し、ゲル状消火剤を用いた航空投下消火システムの研究開発。
聴覚・言語機能障がい者のための緊急通報システムの開発	株式会社エス・エフ・ティー 高島 真	小田原市消防本部	通常のオペレータでも対応できる聴覚障がい者用インターフェースの開発及び実証実験を行い、全国規模での展開のための要素技術を開発。
傷病者の体調に優しい救急車用ベッドの振動低減に関する研究開発	福井大学 新谷 真功	福井市中消防署	救急車が傷病者を搬送する際の前後方向の慣性力や路面の凹凸等の上下方向の振動に対して、傷病者に優しい防振架台の研究開発。

消防防災科学技術研究推進制度の代表的な研究成果

平成15年度から平成25年度までに終了した研究開発課題は93件あり、このうち3件が産学官連携功労者表彰(総務大臣賞)を受賞したほか、最近では「高圧水駆動カッター」がこの制度の成果を生かして実用化されました。



「高圧水駆動カッター」

高圧水駆動カッターは、高圧水が持つエネルギーを高圧水駆動モーターで回転運動に変換し、切断刃には火花の少ないダイヤモンド切断刃を採用しました。さらに、切断刃に冷却水を掛けることで、火花の飛散量を大幅に抑制しています。



問い合わせ先

消防庁総務課 消防技術政策室 千葉、西尾
TEL: 03-5253-7541